

# ぶどう通信

第 24 号

平成 14 年 11 月 6 日

一気に秋らしくなりましたね。今年には夏の暑さが厳しかった分、冷え込みが厳しく感じます。皆さんは体調を崩していたりしませんか。

僕たち夫婦は、十月から夏休みをとったり、連休を利用して帰省したりとのびのびした一ヶ月でした。体調的には万全ですが、どうも時差ボケ、休みボケが出ているようです。予約をすっぽかしてしまったり、連絡を忘れたり。皆さんにご迷惑をおかけするかもしれません（いや、もうおかけしてはいますが）、多少大目に見ていただけると幸いです。

これから一気に年末体勢に入っていきます。また、慌ただしい日が続くと思いますが、体調管理にはくれぐれもご留意ください。

## 根っこのむし歯

基本的に、むし歯は歯の上の方からできてきます。歯の上の部分は山や谷の形になっているため、汚れがたまりやすく、むし歯にもなりやすいのです。

ところが、高齢になってくるとむし歯が歯の横の部分から生じるようになります。つまり、歯と歯ぐきの間付近から黒くなってくるのです。このようなタイプの虫歯が恐いのは、あまり痛みを生じずに進行していき、最後は歯がポキッと折れてしまうということなのです。

現在、このような虫歯を予防する方法は確立しておらず、私たちとしても対応に苦慮しているというのが現状です。

現在考えられている処置法としては、フッ素（むし歯予防に効果がある

成分としてよくコマーシャルでも宣伝されています）を直接塗ったり、フッ素入りのセメントで穴を塞いだりします。しかし、その効果は十分とは言えません。また、研究レベルではレーザーを当てたり、特殊な薬品を開発したりということが行われていますが、まだまだ実用化されていません。

そこで、皆さんでも対処できる方法を2つご紹介します。1つは、よく歯を磨くこと。むし歯の直接原因はやはり歯に付く細菌です。これをしつかり落としましょう。もう1つは、歯に穴が開いているようだったらまずは僕たちに言ってみてください。